

平成29年度 第5回千年のかくれんぼフォトコンテスト

平成30年3月15日

【総評】



写真家 三好和義氏

[三好和義氏の略歴]

58年徳島生まれ。
85年初めての写真集「RAKUEN」で木村伊兵衛賞を受賞。以降「楽園」をテーマにタヒチ、モルディブ、ハワイをはじめ世界各地で撮影。その後も南国だけでなくサハラ、ヒマラヤ、チベットなどにも「楽園」を求めて撮影。その多くは写真集として発表。近年は伊勢神宮、屋久島、仏像など日本での撮影も多い。近著は「京都の御所と離宮」（朝日新聞出版）。日本の世界遺産を撮った作品は国際交流基金により世界中を巡回中。

「日本の誇り、写真家の聖地三好市」

山里ならではのスケールのある景色が魅力です。他の地域では見たことのない美しいシーンに釘付けになります。心が躍るような感動を覚えます。また行ってみたい、こんな所を訪ねてみたいと思える作品がずらりと並びました。やっぱり三好市は写真家にとって聖地なんだなあと改めて思います。まさに、秘密にされてきた桃源郷のようなところですよ。その魅力を写真を通してたくさんの人に知っていただきたいです。こんな場所がある、ということを知ることによって心が豊かになります。日本の誇りだと思います。



最優秀賞「溪谷に思いを馳せて」

氏名：美馬 克行(徳島県)

撮影日：2017年6月4日

撮影場所：小歩危

【審査員講評】

小歩危を見下ろす絶景ポイントです。赤い列車にまわりの新緑が映り込み、清々しい作品になっています。

車体のピカピカした感じが特別な列車だと分かります。列車が木の陰にいるので、明暗のバランスが良いですね。ゆっくりとはいえ、走っている列車を捉えたシャッターチャンスも見事です。こんな列車に一度乗って旅をしたい！と思わせる秀作です。

多度津と大歩危の間を走る観光列車「四国まんなか千年ものがたり」です。



第一席「夏の薫り」

氏名：杉浦 正幸（愛媛県）

撮影日：2017年8月14日

撮影場所：奥祖谷二重かずら橋

【審査員講評】

眩しい新緑。新緑を映し込む透明な溪流。奥祖谷のかずら橋を、水面ギリギリのアンクルから広角レンズで見上げています。帽子を被った子供が恐る恐る足元を見下ろしています。この作品の素晴らしいところは、水の色表現です。



第二席「激流に挑む」

氏名：小川 知廣（岡山県）

撮影日：2017年10月9日

撮影場所：山城町（ラフティング）

【審査員講評】

手に汗を握る激闘のシーンです。カナダなどいろんな国のボートが先を争っています。大激流を長い望遠レンズで切り取った為、重なり合った様子がすごい迫力です。1人1人の表情までリアルに写されています。絞り、シャッタースピードも完璧に計算されています。



第三席「静寂」
氏名:井上 義信(徳島県)
撮影日: 2018年1月12日
撮影場所: 箸蔵寺

【審査員講評】

雪の箸蔵寺を情緒豊かに描いています。湿った雪が積って木々が重そうです。ストロボを弱くたいて、手前の雪が輝いているのも自然です。かなり上手なテクニックをお持ちですね。右に小さく入れた人物も、祈りの場所を神々しく描いています。黄色いのぼりも効果的です。



入選「ラフティングすだちくん選手権！」

氏名： 神子 茂一（徳島県）

撮影日： 2017年5月20日

撮影場所： 山城町(ラフティング)

【審査員講評】

上位入賞のラフティングとは違った和やかなラフティングシーンです。微笑ましいですね。すだちくんを中心にみんなニコニコした表情が魅力的にとらえられています。透明な水を背景に力を込めて進んでいます。



入選「虹架かる滝」

氏名： 小泉 秀城（香川県）

撮影日： 2017年11月3日

撮影場所： 奥祖谷二重かずら橋

【審査員講評】

東祖谷の大釜の滝です。ちょうど虹が出た所をとらえています。紅葉もまだ緑が残っていてみずみずしい感じがしますし、滝の白さもしぶきを感じる清々しい作品です。広角で縦に安定感のある構図が魅力です。スローシャッターにしたのも効果をあげています。



入選「星と雲海を従え」

氏名： 古家 秀俊（香川県）

撮影日： 2017年4月13日

撮影場所： 山城町信正

【審査員講評】

こんな場所があるのですね。北極星を中心に回る星。月明かりに浮かび上がる満開の桜。そして山の上にあることを教えてくれる眼下に広がる雲海。これだけの条件が揃うことはめったにないでしょう。色合いも完璧です。上手です。



入選「錦秋の奥祖谷」
氏名 酒井 利恵（徳島県）
撮影日： 2017年11月4日
撮影場所： 奥祖谷二重かずら橋

【審査員講評】
彩かな紅葉と緑色の透明な溪流のコントラストが美しい。スローシャッターにしたことで静と動の対比もいいですね。岩に散った葉っぱの一枚一枚までシャープに写っているのが気持ちいいですね。。



入選「渓谷泳ぐ」
氏名 笹田 雅代（愛媛県）
撮影日： 2017年4月30日
撮影場所： 大歩危

【審査員講評】
大歩危の鯉のぼりです。フィッシュアイレンズでとらえたことでスケールのある作品になりました。帽子の女の子が効果抜群です。素晴らしい臨場感が出ました。太陽の位置も良かったです。水のキラメキ、透明感が出ました。



入選「薄紅樹氷」
氏名 林 昌弘（徳島県）
撮影日： 2017年2月19日
撮影場所： 剣山

【審査員講評】
日の出の中、紅色に染まった雪景色です。強いコントラストの中で樹氷をシャープにとらえています。構図がしっかりと安定感があります。色づくりも上手です。



入選 「古寺とロープウェイと」

氏名 藤沢 弘順(香川県)

撮影日： 2017年11月21日

撮影場所： 箸蔵寺

【審査員講評】

箸蔵寺の紅葉です。見事な色づきですね。ロープウェイを入れたことで、「こんな所に簡単に行けるんだ!」と思わせてくれる所がミソです。長い階段に登るのは大変そうですから。



入選 「秋の大祭」

氏名 松田 昇(徳島県)

撮影日： 2017年11月12日

撮影場所： 箸蔵寺

【審査員講評】

逆光の中、おごそかに進む大祭の様子が絵巻のようです。手を合わせるお遍路さんとお坊さんの組み合わせが完璧です。縦に切り取った構図も絵画的でいいですね。



入選 「こんにちは～。2」

氏名 山根 茂美(徳島県)

撮影日： 2018年1月4日

撮影場所： 剣山

【審査員講評】

カモシカの親子に出会った驚き、感動が伝わってきます。深い雪の中、フサフサとした毛並みがかわいいです。めったにお目にかかれないシーンです。厳しい自然の中で逞しく生きる生命を感じさせてくれる秀作です。



入選「子供踊り」

氏名 脇 政市（愛媛県）

撮影日： 2017年8月16日

撮影場所： へそっこ公園（阿波踊り）

【審査員講評】

微笑ましい。見ているこっちもつられて踊りたくなるような子供の姿です。表情、しぐさもいいです。背景の人々のボケ具合、指先など様々な条件がピタリと決まっています。肌の色が上手に写りましたね。



奨励賞「妖怪まつりの日」

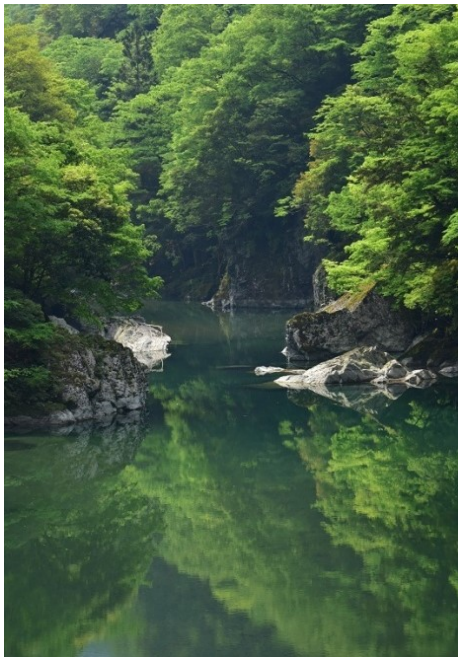
氏名 井上 雄次（愛媛県）

撮影日： 2017年11月12日

撮影場所： 山城町（妖怪まつり）

【審査員講評】

大きな妖怪を怖がり泣く子供、笑って見上げる女の子。皆さん楽しんでますね。逆光の中なのに表情豊かに写されています。



奨励賞「新緑の祖谷川」

氏名 岩崎 英昭（徳島県）

撮影日： 2017年5月12日

撮影場所： 祖谷川

【審査員講評】

静かな水面に映り込んだ景色が美しい。逆光にキラキラと輝く眩しい景色です。こんな所に行ってみたいな。



奨励賞「稲刈り祭り」
氏名 岩本 幸広(香川県)
撮影日: 2017年9月30日
撮影場所: 落合集落

【審査員講評】
豊かに実った稲穂。ススキや後ろを振り向いた若い乙女。山里ならではの奥行のある情景が魅力です。



奨励賞「千年物語」
氏名 上杉 孝徹(香川県)
撮影日: 2017年5月15日
撮影場所: 小歩危

【審査員講評】
色とりどりの列車がいいですね、溪流を見下ろす絶景ポイント。PLフィルターで反射を抑えて深い水の色を表現しています。



奨励賞「クライマックス」
氏名 大西 隆俊(香川県)
撮影日: 2017年8月15日
撮影場所: 池田町(阿波踊り)

【審査員講評】
栄町通りの阿波踊りです。踊り子さん達のリズムがピッタリと合った美しいワンショットですね。カメラマンもそのリズムに合わせてシャッターを切っています。



奨励賞「ラフティング決勝」

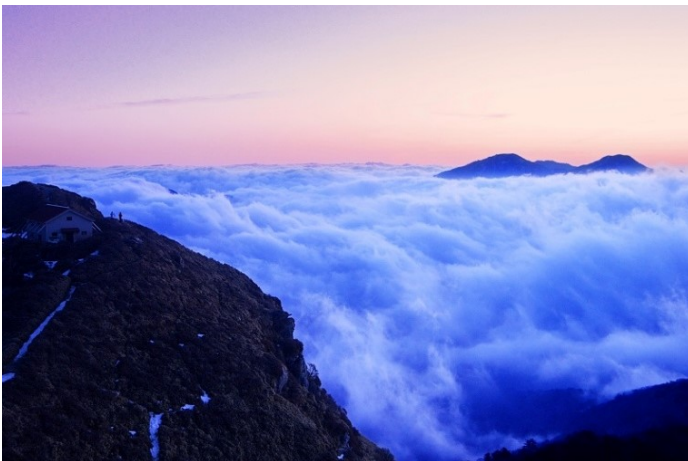
氏名 大本 明(徳島県)

撮影日: 2017年10月9日

撮影場所: 山城町(ラフティング)

【審査員講評】

ラフティング大会の様子です。観客、取材する人、競技の人々が一体になっています。盛り上がっているワンシーンです。



奨励賞「雲海に浮かぶ」

氏名 川谷 淳(高知県)

撮影日: 2018年1月21日

撮影場所: 三嶺

【審査員講評】

三嶺の雲海です。こんな雲海を一度見てみたい。凄いスケールですね。よく見ると左に小屋があり人物が小さく配されています。日の出前の奇跡の光景です。



奨励賞「雲海の里に舞う」

氏名 楠本 毅(香川県)

撮影日: 2017年12月10日

撮影場所: 西祖谷・吾橋(雲海)

【審査員講評】

回転する星、残雪の山、そして発光するように見える雲海。素晴らしい夢のような景色を見事に捉えています。



奨励賞「冬のへんろ道」
氏名 齊藤 延子（香川県）
撮影日： 2018年1月13日
撮影場所： 雲辺寺

【審査員講評】
雲辺寺の五百羅漢像です。雪にすっぽりと覆われてシ～ンと静かです。人物を配し、カーブの所をフレーミングしたあたりベテランの技です。



奨励賞「天空に咲く」
氏名 佐竹 清（徳島県）
撮影日： 2017年4月13日
撮影場所： 山城町信正

【審査員講評】
和紙の原料になるミツマタの栽培地です。雲海の上に広がる壮大な景色です。申し分のない好条件に恵まれた中で撮られています。



奨励賞「ゴールを目指して」
氏名 佐藤 芳之（徳島県）
撮影日： 2017年10月6日
撮影場所： 山城町（ラフティング）

【審査員講評】
頑張れ日本！真剣な表情に感動を覚えます。水に濡れた男達も斜めになって凄いスピード感にあふれています。チームワークが素晴らしいです。



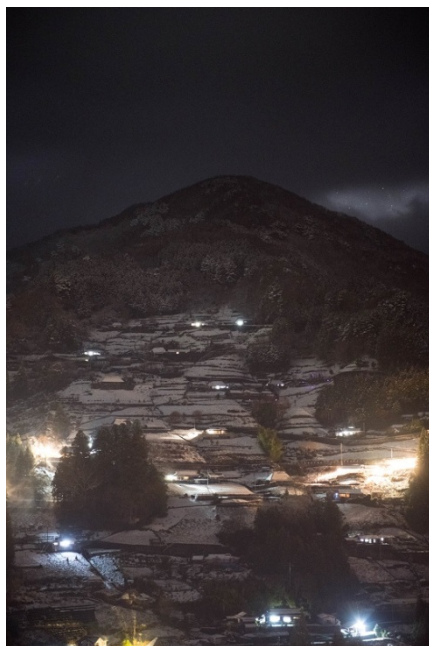
奨励賞「夕照のすすき原」
氏名 須田 隆司(香川県)
撮影日: 2017年10月10日
撮影場所: 塩塚高原

【審査員講評】
夕陽に輝く塩塚高原のススキです。空のグラ
デーション、太陽の描写など上手です。



奨励賞「冬のかずら橋」
氏名 住友 登(徳島県)
撮影日: 2017年1月22日
撮影場所: 祖谷のかずら橋

【審査員講評】
雪がしっかりと積もったかずら橋。暗めに表現
されているので神秘的な雰囲気です。ブルー
の色調も良かった。



奨励賞「初冬の団らん」
氏名 団 芳男(徳島県)
撮影日: 2017年12月9日
撮影場所: 落合集落

【審査員講評】
雪の落合集落の夜です。真っ暗な中、長時間
路光で明るく描き出しています。目にはもっと
暗いはずです。ドラマチックなシーンです。



奨励賞「福寿草咲く山里」
氏名 藤本 正昭（香川県）
撮影日： 2017年3月5日
撮影場所： 落合集落

【審査員講評】
暖かい日差しの中で咲く福寿草。春なのに奥山は雪深くドラマチックです。水準を取らずに傾けた画面が効果的です。



奨励賞「森の目覚め」
氏名 松本 省五（香川県）
撮影日： 2017年5月22日
撮影場所： かずら橋山草園

【審査員講評】
林の中にひっそりと咲くクマガイソウです。逆光の中、透明感のある作品です。透けた緑とピンクの花がみずみずしく写されています。光の筋も上手に出ました。



奨励賞「若武者勢揃い」
氏名 三好 計夫（香川県）
撮影日： 2017年11月5日
撮影場所： 三野町(三好長慶武者行列)

【審査員講評】
若武者の凛々しい姿がいいですね。ちょっと嬉しそうですね。色とりどりのシューズが面白いですね。背景の青いテントがかえて効果的に生かされています。声をかけて全員カメラを見てもらおうと良かったかもしれません。



奨励賞「水しぶき舞う」
氏名 山下 修司(徳島県)
撮影日: 2017年7月29日
撮影場所: 池田町ダム湖

【審査員講評】
どっちが上なのか分からなくなります。すごいジャンプテクニックがあるものですね。画面いっぱい広がる水しぶきが魅力です。暗い背景で美しく描かれています。人物の配され方も上手い。



奨励賞「緑豊かな夏山」
氏名 雪本 信彰(高知県)
撮影日: 2017年7月23日
撮影場所: 剣山

【審査員講評】
夏の雲と山並みがシャープに捉えられています。人物が効果的です。ピンクがきいています。脇の大岩もスケールを出しています。陰になった部分の山肌もより奥行きを強くしています。



奨励賞「朝陽さす」
氏名 米沢 美千代(徳島県)
撮影日: 2017年10月1日
撮影場所: 川人家長屋門

【審査員講評】
蕎麦の花が満開です。川人家長屋門の前に広がる畑が見事です。アングルがいいですね。また斜めから当たる光もいいです。